

I 単元指導計画(4観点)と学習指導案【科目名:社会福祉基礎】

1 単元・小単元	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第3章 社会福祉の将来と福祉の担い手 第5節 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度
2 小単元の目標	著しく変動する社会の中での社会福祉や社会保障が担う役割について理解させる。また、「参加する社会福祉」の意義を考え、これからの社会福祉を担う専門職としての役割について理解させる。
3 育てたい 資質・能力	地域共生社会を実現させるための基本的な考え方について、地域でのさまざまな立場における役割を考えさせながら、地域福祉の意義や役割を理解させることをねらいとしている。 本単元では、社会福祉や社会保障の現状と今後の社会福祉の姿について学習する。具体的な事例から社会福祉の担い手として必要なことを考えさせたい。そのために、グループワークを通して自らの意見を表現する力、他者の意見に耳を傾け、多様な価値観を受容できる態度を養いたい。そして、地域福祉の一員としての役割について主体的かつ協働的に取り組む資質や能力を身に付けさせたい。

4 単元ごとの指導と評価の計画（4観点）

単元ごとの指導と評価の計画

【単元】第5編 地域社会の進展と多様な社会的支援制度 第3章 社会福祉の将来と福祉の担い手

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
1 新しい社会連帯と福祉の推進	○自助・公助・共助の枠組みと我が国の社会福祉制度について理解させる。 ○人々の善意と行動が、新たな社会福祉の構築にどう影響するのか理解させる。	・自助・公助・共助の枠組みについて調べる。 ・新たな社会連帯として必要な行動についてまとめる。	1	①地域での社会連帯について探究しようとしている。			①自助・公助・共助の枠組みについて理解している。	・ワークシート ・学習態度
2 利用者支援と消費者保護	○介護や保育、福祉サービスが発展していく中で高齢者や障害者の権利を保護するしくみについて理解させる。 ○福祉・介護サービス提供者に求められる責任について理解させる。	・福祉サービス提供者が、利用者とは信頼関係を構築するにあたり、意識しなければならないことは何かを考え、発表する。	1		①福祉従事者としての必要な視点について、自分の意見を発表することができる。	①利用者主体のサービスの特性について、様々な資料や情報を収集し、まとめることができる。		・ワークシート ・学習態度
3 多様なニーズを抱える人々への支援	○多様なニーズを抱える人々に対する取り組み、自立支援のあり方について理解させる。 ○共生社会の確立に向けてどのような働きかけが必要なのかを理解させる。	・同和問題、ホームレス、引きこもりについて割り振られた項目について調べる。 ・課題解決方法を発表する。	1		②あらゆる人々が共生する社会を形成するために社会的課題を解消する支援方法を考え、まとめることができる。	②多様なニーズを抱える人々に対する取り組み、自立支援のあり方について理解している。		・ワークシート ・学習態度
4 福祉・介護人材の養成とキャリア形成	○福祉、介護の仕事、資格について理解させる。 ○福祉、介護に関連するさまざまな職種があることを理解させる。 ○福祉、介護の人材確保、キャリアアップを目指した取り組みについて理解させる。	・国家資格が整備された経緯について調べ、それぞれの資格の特徴についてまとめる。	1	②福祉、介護の仕事、資格について探究しようとしている。		②社会福祉従事者の職種と資格について、様々な資料や情報を収集し、まとめることができる。		・ワークシート ・学習態度
5 日本における社会福祉の役割と新しい方向	○変化していく社会の中で、社会福祉・社会保障が担うべき役割を理解させる。 ○「参加する社会福祉」への転換が、これからの社会福祉にどのように影響していくのかを理解させる。	・社会福祉・社会保障が担うべき役割をまとめる。 ・新しい時代の社会福祉について考える。	1		③社会福祉の担い手としてできることを考え、まとめることができる。			・ワークシート ・学習態度 本時
総時間数			5					

5 □学習指導案

科目名	社会福祉基礎	使用教科書	社会福祉基礎（実教出版）	
単元名	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度			
本時の主題	日本における社会福祉の役割と新しい方向（5/5時間）			
指導観	災害やボランティア活動など身近なテーマから地域福祉の担い手として、これからの社会福祉に福祉専門職として、どのように参加する必要があるか考えさせる。			
本時の目標	社会福祉の担い手としてできることを考え、まとめることができる。			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価について	教師の指導
導入 3分	本時の目標の確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1 本時の目標を確認する。</div> <ul style="list-style-type: none"> manaba で事前に行った福祉に関する意識調査を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 MetaMoJiClassroom を起動させる。
展開 42分	<p>社会変動のなかでの社会福祉の役割 社会福祉・社会保障制度の財源確保の重要性</p> <p>市民参加の社会福祉と新しい社会連帯の精神</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2 社会福祉・社会保障制度の充実が必要なことを理解する。</div> <p>社会福祉・社会保障制度における現状や課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3 過去の震災後のボランティア活動の様子から「参加する社会福祉」とは何を指しているかまとめる。</div> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所の人を助けることが必要 困っている人に声をかける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">4 ボランティア活動を例に、社会福祉の担い手としてできることをまとめる。</div> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士は、利用者だけでなく、地域との繋がりを大切にしておくことでお互いに支え合うことができる。 職場だけの関わりだけでなく、住んでいる地域についての理解を深めることが大切である。 	<p>○評価規準</p> <p>【思考・判断・表現】 社会福祉の担い手としてできることを考え、まとめることができる。</p> <p>【評価方法】 MetaMoJiClassroom ワークシート 行動観察</p> <p><Aの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 将来なりたい仕事を考えながら、専門職と地域住民としての側面から担い手としてできることをまとめることができる。 	<p><Bを実現する為の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士や保育士など専門職の具体的な働いている場を調べ、その中で求められることをまとめさせる。 <p><Cへの手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの実習の振り返りをもう一度確認させ、保育や介護の現状を想起させる。
まとめ 5分	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容について、manaba を活用し、感想をまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> 感想を manaba で提出するよう説明する。

□工夫した点

<ul style="list-style-type: none"> 導入に係る意識調査を行うため、事前に manaba でアンケートを行った。 MetaMoJi を活用することで、全体で振り返ることができるようにした。
--

□実践後の評価結果

○評価規準【興味・関心・態度】②

	学習活動における 具体的な評価規準（B）	「十分満足できる」と 判断される状況（A）	「努力を要する」と 判断される状況（C）
評価	介護福祉士や保育士など専門職の具体的な働いている場を調べ、その中で求められることを考えることができる。	将来なりたい仕事を考えながら、専門職と地域住民としての側面から担い手としてできることをまとめることができる。	これまでの実習の振り返りを確認し、保育や介護の現状を想起することができない。
生徒の状況	関連する職種と職場について考えることができている。	専門職の業務のみならず、地域での役割について考えることができている。	自分の意見としてまとめることができている。
記述例	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士として、利用者と地域との繋がりをもてる環境をつくる。 保育士として、保護者の方の交流の場を設ける。 看護師として、患者さん一人ひとりに合った看護を行う。そのために、信頼関係を築けるようコミュニケーションを図る。 臨床心理士として、職場や学校で悩む人たちが少しでも救われるよう話を聴き、その人が生きる手助けをしていきたい。 <p style="text-align: right;">（88%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育士として、未来の日本を支えなければならない子どもたちの基盤となる幼少期を質の良い教育を大切にしていけることが必要。 高齢社会になっても生活しやすい環境でいられるような介護士の働きかけが必要。 利用者さんを深く理解し、何があっても対応できるように準備しておく。また、コミュニケーションを大切に、震災などが起きた時の利用者が安心できる声掛けを考えておく。 <p style="text-align: right;">（12%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 未記入 <p style="text-align: right;">（0%）</p>

□授業後の課題と改善

今回は、社会の担い手としてできることを考え、まとめるというテーマ設定をした。授業を振り返り、まとめの時間を確保することができなかった。はじめにパソコンが止まってしまった生徒もあり、起動できなかった場合の対応を考えておく必要があると感じた。また、今後評価の観点も変わるが、生徒の記入した内容をどのように評価していくのか考えていくことが課題として挙げられる。授業の目標と評価を連動させる必要があると感じている。

1回の授業ですべての内容を理解していくことはできないが、生徒たちが今後も福祉を学ぶ上で考えるきっかけにはなったのではないかと思う。この3年間で社会福祉の担い手としてそれぞれが何ができるかを考えられるよう今後も授業展開をしていきたい。